

14			
15			

科目名	科目担当者	開講時期	単位数／時間数
精神看護学Ⅰ	医師	2年次前期	1単位／15時間
科目目標			
1. 主な精神症状を理解する。 2. 精神障害の分類と検査を理解する。 3. 主な精神疾患の特徴と治療を理解する。			
教科書		参考書	
1) 武井麻子他: 系統看護学講座専門分野Ⅱ精神看護の基礎、医学書院。 2) 武井麻子他: 系統看護学講座専門分野Ⅱ精神看護の展開、医学書院。 3) 萱間真美: 精神看護、照林社。			
評価方法			
筆記試験(100%)			
授業計画			
回	単元	授業内容	授業方法
第1回	精神疾患の成因と分類	1 精神医学とは 2 精神疾患の原因と分類 3 精神障害の臨床分類 4 ICD-10の大項目 5 DSM-IVにおける精神疾患の診断カテゴリーの大項目	講義
第2回	精神障害の症候学	1 知覚の異常 2 思考の異常 3 自我意識の異常 4 感情の異常 5 意欲と行動の異常 6 意識の障害 7 記憶と知能の異常	
第3回	精神障害の検査	1 予診 2 面接 3 臨床心理テストと臨床評価尺度 4 臨床検査法	
	精神障害の治療	1 薬物療法 2 精神療法 3 電気けいれん療法 4 社会復帰療法	
第4回	精神障害の各論	1 内因性精神障害 1) 統合失調症 2) 感情障害	
第5回		2 器質性精神障害 1) 症状精神病 2) 中毒精神病 3) 脳器質性精神病 4) てんかん 5) 老年期痴呆	
第6回		3 心因性精神障害(神経症性障害)とパーソナリティ障害 1) 神経症性障害 2) パーソナリティ障害	
第7回		4 児童・思春期精神医学(小児・青年期の精神障害)	
第8回		試験	

科目名	科目担当者	開講時期	単位数／時間数	
精神看護学Ⅱ	専任教員・看護師	2年次前期	1単位／30時間	
科目目標				
1. 精神障害の経験を学び、病いとともに生きることについて考察することができる。 2. 精神科治療における看護を理解する。 3. 入院治療における看護を理解する。 4. 精神科看護におけるケアの方法を理解する。				
教科書		参考書		
1)武井麻子他:系統看護学講座専門分野Ⅱ 精神看護の基礎、医学書院。 2)武井麻子他:系統看護学講座専門分野Ⅱ 精神看護の展開、医学書院。 3)萱間真美:精神看護、照林社。 4)山本勝則他:根拠がわかる精神看護技術、 メデカルフレンド社。		1)萱間真美他:精神看護学、南江堂。 2)坂田三允他:精神科看護とリハビリテーション、医学書院、2000。 3)宮本真巳:看護場面の再構成、日本看護協会出版会、1995。 4)宮本真巳:援助技法としてのプロセスレコード、精神看護出版、2003。 5)坂田三允他:精神看護エクスペール6救急・急性期Ⅰ統合失調症、中山書店、 2004。 6)坂田三允他:精神看護エクスペール4長期在院患者の社会参加とアセスメントツ ール、中山書店、2004。		
評価方法				
筆記試験、レポート(8回～12回 30%、1回～7回 13回～15回 70%)				
授業計画				
回	単元	授業内容	授業方法	授業担当
第1回 ～4回	統合失調症と看護	1 「病いの経験」と理解への手がかり 2 統合失調症の発病と回復のプロセスと看護 1)治療と回復、そして寛解 2)院内寛解 3 統合失調症の2つの障害 4 リハビリテーションと社会復帰 リカバリー エンパワーメント	講義 演習	専任教員
第5回 ～7回	治療と看護	1 抗精神病薬の有害反応と服薬の援助 2 電気けいれん療法と看護 3 精神療法としての身体のケアと看護 4 SST、認知行動療法、心理教育と看護		
第8回 第9回 第10回	入院治療と看護	1 入院治療の意味を理解する 1)はじめての入院 2)入退院を繰り返す患者 3)入院のデメリット 4)入院と患者の同意 5)入院治療の目的 2 治療的環境をつくる 1)環境療法、施設病 2)日本の精神科病院と病棟の特徴 3)治療的環境の要件 治療的雰囲気 4)治療共同体 5)治療的環境と看護師 みずからの偏見と恐れに気づく 3 安全をまもる 1)安全な環境をつくる 「安全」ということの複雑さ 治療と安全のバランス 2)リスクマネジメント リスクマネジメントとは 観察 3)行動制限 行動制限最小化		看護師

<p>第11回 ～12回</p>		<p>通信・面会の制限 隔離 身体拘束</p> <p>4 緊急事態に対処する</p> <p>1) 自殺 自殺予防への取り組みと対策 自殺のリスクアセスメント TALKの原則 自殺の手段を遠ざける 自殺企図がおきたときのケア</p> <p>2) 暴力 精神医療の場と暴力 暴力のアセスメントと患者の参加 包括的暴力防止プログラム</p> <p>3) 無断離院</p> <p>4) 緊急事態とスタッフのサポート 当事者となった看護師へのケア デブリーフィング</p>		
<p>第13回 ～14回</p>	<p>精神科看護におけるケアの方法</p>	<p>1 ケア的前提・原則・方法</p> <p>2 患者－看護師関係で起こること</p> <p>3 プロセスレコードの活用</p> <p>4 看護における感情労働</p>		<p>専任教員</p>
<p>第15回</p>		<p>まとめ 試験</p>		

科目名	科目担当者	開講時期	単位数／時間数	
精神看護学Ⅲ	専任教員・看護師	2年次後期	1単位／30時間	
科目目標				
1. 精神保健医療にかかわる法制度を説明できる。 2. 地域における精神看護を考察することができる。 3. 主な精神疾患の看護を理解する。 4. 災害時地域精神保健医療活動を学ぶ説明できる。 5. 事例を通してセルフケア理論を理解する。				
教科書		参考書		
1)武井麻子他:系統看護学講座専門分野Ⅱ 精神看護の基礎、医学書院。 2)武井麻子他:系統看護学講座専門分野Ⅱ 精神看護の展開、医学書院。 3)萱間真美:精神看護、照林社。 4)山本勝則他:根拠がわかる精神看護技術、 メデカルフレンド社。		1)萱間真美他:精神看護学、南江堂。 2)坂田三允他:精神看護エキスパート6救急・急性期Ⅰ統合失調症、中山書店。 3)坂田三允他:精神看護エキスパート4長期在院患者の社会参加とアセスメントツ ール、中山書店。 4)坂田三允他:精神看護エキスパート7救急・急性期Ⅱ気分障害・神経症性障害 ・PTSD・せん妄、中山書店。		
評価方法				
筆記試験(1回～5回 30%、6回～15回 70%)				
授業計画				
回	単 元	授業内容	授業方法	授業担当
第1回 ～2回	精神保健医療に関 わる法律	1 精神科看護と法律 2 精神科領域で必要な法律と法制度 1))権利擁護に関する法律と制度 2)医療を受けるための法律と制度 3)生活を支えるための法律と制度 4)情報のための法律と制度	講義	看護師
第3回 ～5回	地域における精神 看護	1 地域で生活するための原則 2 生活を支える制度 1)生活と社会制度 2)精神障害者の地域生活を支えるために ①医療的なサービス ②生活にかかわるサービス ③当事者のエンパワーメントのためのサービス ④仕事に向けてのサービス 小規模作業所 一般就労に向けての支援 3 地域で精神障害を支援するための方法 4 地域での看護の実際:事例を通して		
第6回 ～7回	気分障害をもつ人 の看護	1 アセスメントとセルフケアの特徴 2 看護の実際	講義 演習	専任教員
第8回	パーソナリティ障害 をもつ人の看護	1 アセスメントとセルフケアの特徴 2 看護の実際		
第9回	不安性障害をもつ 人の看護	1 アセスメントとセルフケアの特徴 2 看護の実際		

第10回	強迫性障害をもつ人の看護	1 アセスメントとセルフケアの特徴 2 看護の実際		
第11回	摂食障害をもつ人の看護	1 アセスメントとセルフケアの特徴 2 看護の実際		
第12回	アルコール依存症をもつ人の看護	1 アセスメントとセルフケアの特徴 2 看護の実際		
第13回	災害時地域精神保健医療活動	1 災害時の精神保健医療活動 2 災害時の精神保健初期対応 3 災害時の精神障害者への援助		
第14回	セルフケアと看護	1 オレムアンダーウッド理論 2 事例紹介		
第15回		まとめ 試験		